



野外活動

# キャンプファイヤー

対象	時期	人数	所要時間	活動場所	費用	指導員	関連動画
小学校 低学年～	5月～11月	—	1.5～2時間	営火場 すりばち広場 わんぱく広場 森の広場 三角塔広場	薪：650円/束 灯油：時価	—	—

## 概要

静けさの中、炎を見つめながら、歌を歌い、ゲームで交流し、スタンプなどを演じたりし、参加者全員が心を通わせることによって、連帯感や友情を深め、楽しい思い出をつくることができます

## 準備物

団体で用意するもの

- ・薪、灯油（売店より購入）
  - ・マッチ（ライター）
  - ・新聞紙（着火剤）
  - ・懐中電灯
- ※トーチ棒の貸し出しはありません。ご持参ください。

自然の家で貸し出すもの

- ・バケツ
- ・音響機器（アンプ・マイク等）
- ・スコップ、一輪車（残炭置場に置いてあります）

## 活動例

★当施設周辺の森は保安林となりますので、**営火場以外でキャンプファイヤーを行うことはできません。**

<人数の目安>

すりばち広場・・・100人、わんぱく広場・・・150人、森の広場・・・50人、三角塔広場・・・40人

<薪の組み方>

- ・信州高遠青少年自然の家では、鉄柱でできた聖火台型のかごの中に、薪を組んで燃やす方法をとっています。（保安林等の関係で、大きく高く燃やすことができません。）
- ・短い時間で燃やしきる場合には、太い薪の間に細い薪を入れたり、灯油で湿らせたりして、一気に燃え上がるように積み上げてください。
- ・ゆっくりと時間をかけて燃やしたいときは、炎があまり立たないように、積み上げ方を工夫してください。



<消火方法>

- ・残炭をスコップ等で一輪車の上に移し、水道からホースで水をかけてください。この時、火が完全に消えたことを確認してください。

※キャンプファイヤーには定形といったものがないので、ファイヤーの目的・日程・場所・参加者の実態を考慮して計画してください。

## 留意事項

- ・火には細心の注意を払ってください。火災防止のため、火が大きくなりすぎないように気をつけてください。
- ・終了後は水をかけて完全に消火してください。（夜9時30分までには消火、撤収してください。）
- ・残炭は完全に消火したのを確認し、残炭置場に一輪車で運ん捨ててください。
- ・季節、天候に応じて防寒着を準備しましょう。また夜は足元が暗くなるので、各グループ1個ずつ懐中電灯を準備してください。